

令和3年度事業計画
(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

1 事業実施の方針

「瀬戸内海研究会議」の30年に近い活動実績を活かし、瀬戸内海を取り巻く情勢変化に対応し、会員相互の協力のもと、次の基本方針に基づく諸事業を推進するとともに、他主体との連携強化を図り、各種施策の具体化に向け、提言を行っていくこととする。

- ① 本研究会議は、自然科学はもとより社会科学、人文科学等を含めた学際的な集団であり、また、学・産・官・民の研究者等の集合体でもあるので、会員の研究発表及び会員相互の情報交換の場として組織の充実を図る。
- ② フォーラムやワークショップを開催するなど、調査・研究の成果及びその他の関連情報（環境保全・創造をはじめ、地域づくりや観光・産業の振興等を含む。）の交換と普及を図る。
- ③ 瀬戸内海の水環境の保全と適正な利用について研究し、必要な提言を行う。
- ④ 国、地方公共団体等が行う瀬戸内海に関する調査・研究に協力するとともに、助成財団等からの調査・研究助成の獲得に努める。
- ⑤ （公財）国際エメックスセンターが行う世界の閉鎖性海域環境保全活動への参加、協力を行うとともに、関係団体と交流し、学際的な情報と技術の交流を図る。
- ⑥ （公社）瀬戸内海環境保全協会が実施する調査・研究・教育及び普及啓発に係る各種事業に対して、必要な助言及び支援を行う。

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 調査研究に関する事業

① 「瀬戸内海の水環境保全・創造に係る研究委託事業」の受託実施 (受託額：3,500千円)

令和2年度に引き続き、瀬戸内海水環境保全知事・市長会議からの委託を受け、瀬戸内海の水環境保全・創造に係る研究を以下により実施する。

テーマ1 瀬戸内海の水質汚濁低減の原因究明と将来予測に関する研究について

- a) 実施方法 令和元年度に公募し、採択した2件の研究テーマの研究を進める。
(助成金75万円/件・年)
- b) 研究期間 令和元年度～3年度
- c) 採択された研究者と研究テーマ
梅原 亮 (広島大学環境安全センター・助教)
瀬戸内海における長期的な水質汚濁濃度の時空間分布
高木 秀蔵 (岡山県農林水産総合センター水産研究所・研究員)
岡山県児島湾及びその沖合海域における水質汚濁濃度の経年変化と将来予測に関する研究

テーマ2 栄養塩類から高次生態系を含む統合シミュレーションモデルの構築

- a) 実施方法 令和元～2年度にかけて実施した「栄養塩類の働きを踏まえた高次生態系までの統合シミュレーションモデル構築のための課題整理」の研究を踏まえ、栄養塩から高次生態系を含む統合モデルの構築を検討する。(研究資金：100万円、研究担当：吉江委員)
- b) 研究期間 令和3年度

②「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に係る受託業務の実施 (受託額：2,334千円)

a) 研究助成制度の運営

大阪湾広域臨海環境整備センターから令和3年度の「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に係る業務を受託し、助成を希望する研究団体等の募集、助成対象者の選考、研究報告のとりまとめを行う。

b) 成果発表会の開催

令和3年度に助成を受けた大学・研究機関等の成果発表会を行う。

- ・時期：令和4年4月頃
- ・場所：神戸市内

(2) 調査研究成果の普及・教育に関する事業

①「瀬戸内海研究フォーラム in 福岡」の開催

産・官・学・民による瀬戸内海に関する学際的な研究や事例発表・会員相互の交流の場とするため、令和3年8月25日～26日に北九州市内で「瀬戸内海研究フォーラム in 福岡」を開催する。

②「瀬戸内海研究ワークショップ」の開催

産・官・学・民による瀬戸内海に関する学際的な研究や事例発表を行い、会員相互、一般市民との意見交換の場とする。

- ・時期：令和3年11～12月頃
- ・場所：神戸市内
- ・内容：令和3年度瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究に関する研究成果の報告及び意見交換

(報告者)

テーマ1：梅原 亮（広島大学環境安全センター・助教）

瀬戸内海における長期的な栄養塩濃度の時空間分布

高木 秀蔵（岡山県農林水産総合センター水産研究所・研究員）

岡山県児島湾及びその沖合海域における栄養塩濃度の経年変化と将来予測に関する研究

テーマ2：吉江 直樹（愛媛大学沿岸環境科学研究センター・講師）

栄養塩類から高次生態系を含む統合シミュレーションモデルの構築

③「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム」への支援・協力

(公社)瀬戸内海環境保全協会が、会員の新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に実施している「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム」の講師に関して、協力する。

- ・時期：令和3年11月頃
- ・場所：岡山県内

④「瀬戸内海の理解と魅力向上事業」に係る受託業務の実施

(受託額：700千円)

(公社)瀬戸内海環境保全協会から「瀬戸内海の理解と魅力向上事業」に係る業務を受託し、一般の方が瀬戸内海に関心を持ってもらうためのWeb対応が可能な普及啓発用教材を作成する。(コンセプトについては別添資料参照)

(3) 提言に関する事業

瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会において、同会議より委託を受けた瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究成果について報告を行い、行政施策への活用の提言を行う。

(4) 国内外の情報及び技術の交流に関する事業

①世界の閉鎖性海域環境保全活動への参加協力

(公財)国際エメックスセンターが主催する世界の閉鎖性海域環境保全活動への協力を行う。

②ホームページによる情報発信

研究会議が実施する各種事業の周知及び調査・研究事業の推進等を図るため、会員相互の情報ネットワークとして研究会議のホームページの運用・管理を行う。

3 事業実施体制

(1) 通常総会

8月25日に北九州市内で開催予定

(2) 理事会

年2回程度開催(前年度決算に関する7月開催の理事会は書面開催)

(3) 企画委員会

年3回程度開催(10月、1月、6月頃)